

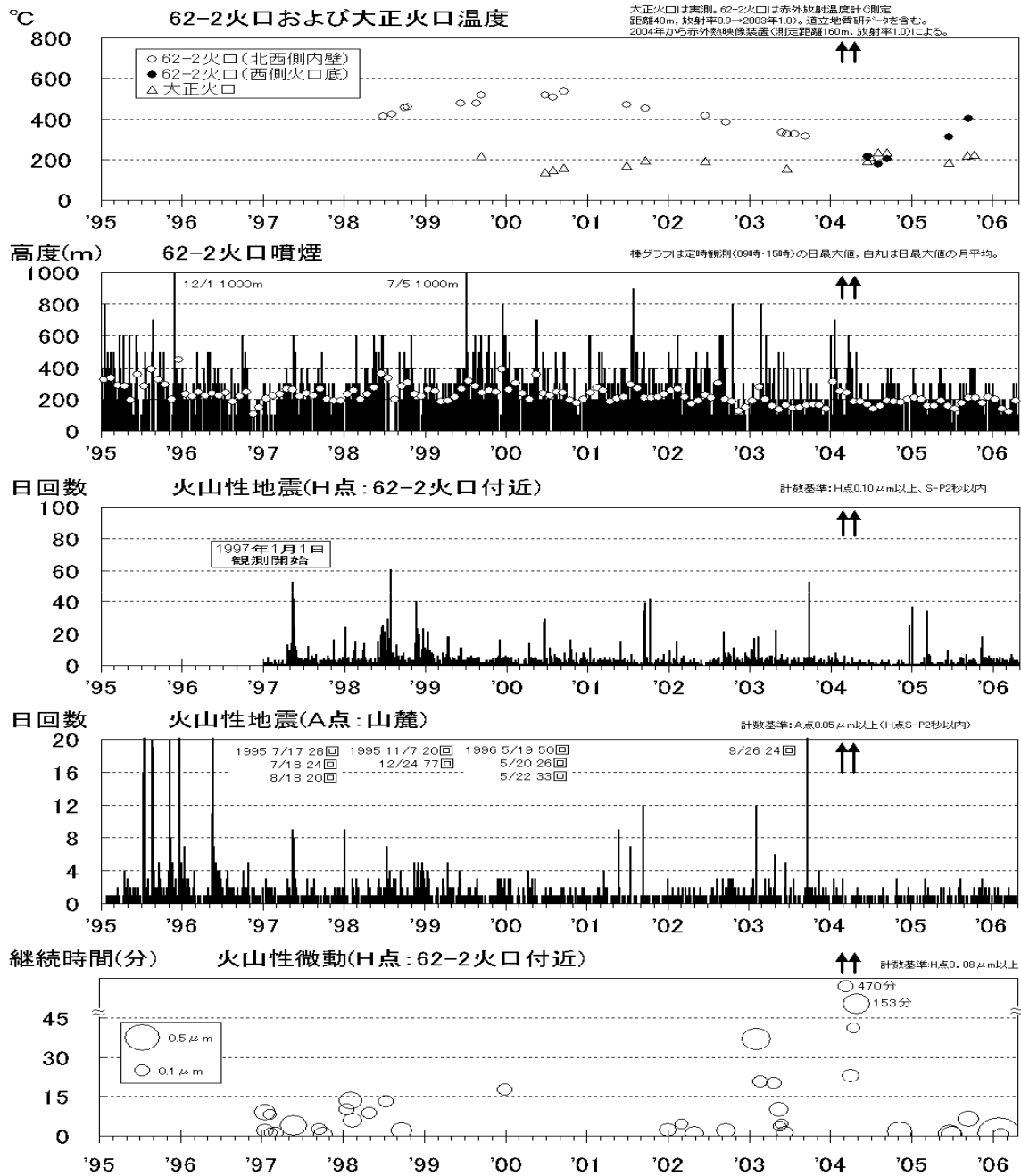
十勝岳

1 概況

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 m で経過しました。



最近の火山活動経過図（1995 年 1 月 1 日～2006 年 4 月 30 日） ↑印はごく小規模な噴火

十勝岳の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

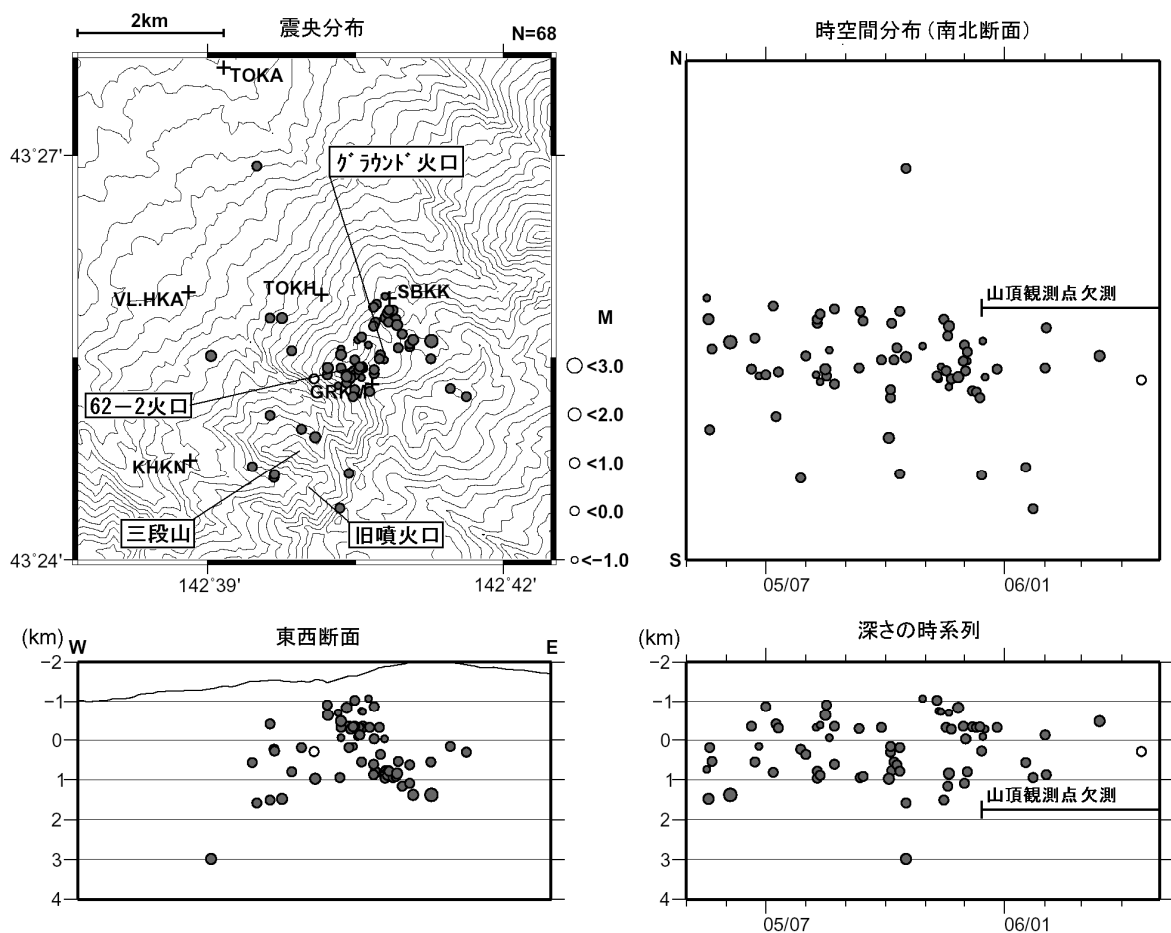
3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0～3 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様にグラウンド火口周辺と三段山～旧噴火口周辺の浅部（海面上 1km～海面下 1km 程度）に分布していると推定されます。

火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数（H 点：火口付近の観測点 A 点：山麓の観測点）

2005～2006 年	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
地震回数 H 点	14	26	17	41	29	25	78	69	32	44	48	37
地震回数 A 点	5	3	4	13	2	7	14	9	6	8	10	4
微動回数 H 点	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0



十勝岳の震源分布図（丸印：震源、＋印：地震観測点、気象庁と北海道のデータを使用）

※2005 年 12 月 19 日以降、山頂観測点障害のため震源決定能力が低下しています。

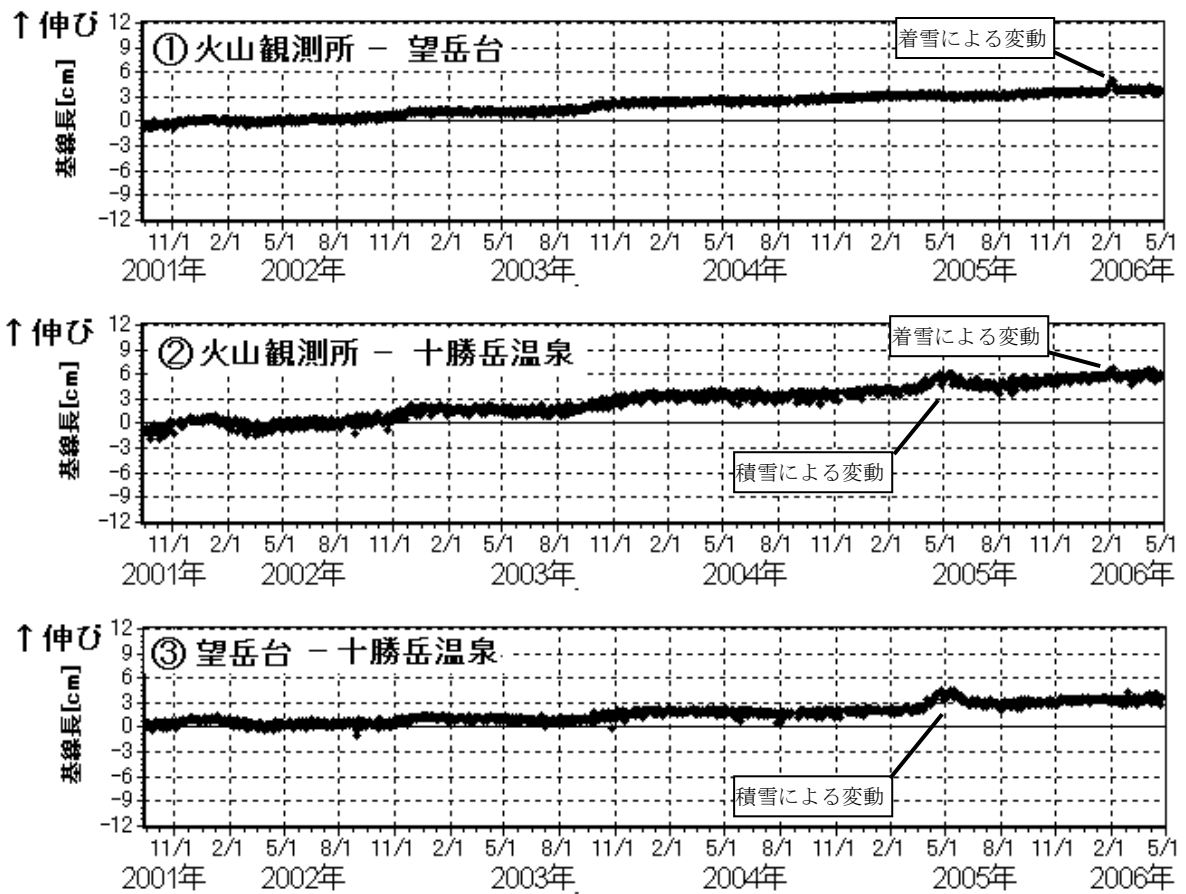
○印は今期間(2006 年 4 月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 5 月～2006 年 3 月)に求まった震源を示しています。

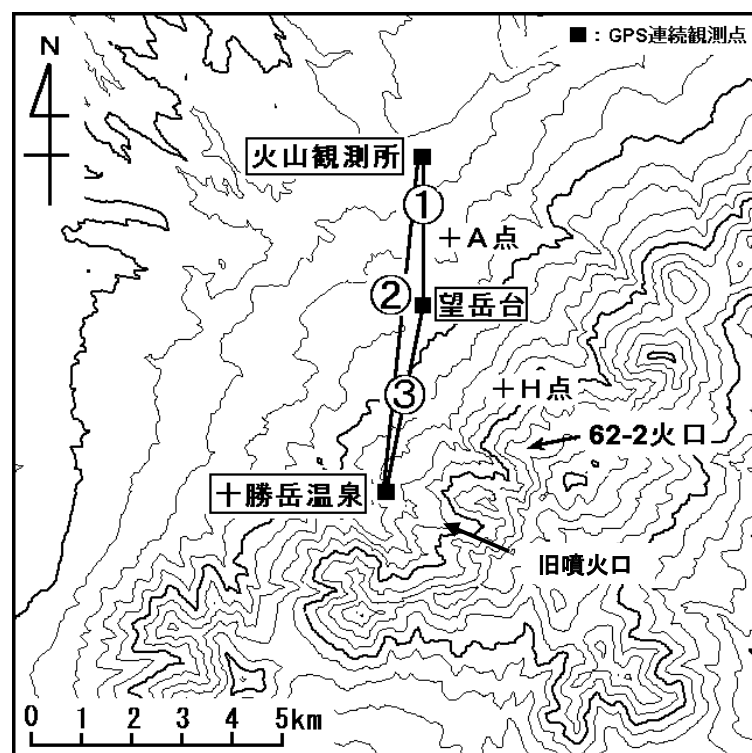
震源はグラウンド火口周辺と三段山～旧噴火口周辺の浅部（海面上 1km～海面下 1km 程度）に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。



基線長変化（2001 年 9 月 13 日～2006 年 4 月 30 日）



GPS 観測点配置図